

ER 診療の実際

連載 **主要徴候別** 企画・司会 三宅康史

昭和大学医学部救急医学・昭和大学病院救命救急センター 准教授

ER 診療の実際

救急患者として何気に要請の多い眼科救急疾患。救急外来、特に夜間・休日に眼科の先生がいないときには、当直医に診察の機会が回ってきます。今回は、眼科診療の基本とともに救急外来でよく遭遇する眼疾患について教えていただきます。先生方、よろしくお願いします！

第 34 回

眼科救急



今回のゲスト

齋藤雄太 先生

昭和大学医学部 眼科学教室 助教。2001 年 昭和大学医学部卒業、2005 年 昭和大学大学院医学研究科修了。同年 米国ノースカロライナ大学 眼科学教室留学を経て、2007 年より現職。

はじめに

三宅：前回の耳鼻科に続き、実は救急患者として要請の多いのが眼科救急疾患です。眼科は各診療科の中でも特に専門性の強い科ですので、通常眼疾患の診療を他科が行うことはほとんどないと思います。しかし、救急外来診療、特に夜間・休日には眼科医が常駐している病院は少なく、まず当直内科医か外科医が眼疾患を診察する機会も生じます。そこで、今回は初期研修医向けに、救急外来でよく遭遇する眼疾患について、眼科診療の基本とともに齋藤先生に教えてもらいましょう。

齋藤：まず、昭和大学眼科での一次救急の疾患別統計（平成 22 年度）を示します（表 1）。疾患別では角膜・結膜疾患と眼打撲などの眼外傷が多いので、まずはこれらの疾患の知識を深めることが大切で

表 1 昭和大学眼科における平成 22 年度眼科救急の疾患別統計（文献²より一部改変）

疾患名	件数	疾患名	件数
眼外傷	336	硝子体出血	21
眼打撲	80	網膜静脈分枝閉塞症	2
結膜異物	69	網膜中心静脈閉塞症	2
角膜異物	41	黄斑下出血	1
薬傷	40	硝子体出血	14
前房出血	32	網膜下出血	2
眼窩底骨折	25	ぶどう膜炎	17
結膜裂傷	14	急性閉塞隅角緑内障	10
眼瞼裂傷	12	眼内炎	2
眼球破裂	4	白内障術後	1
涙小管断裂	3	硝子体内注射後	1
外傷性視神経症	5	その他	169
網膜網脈振盪症	3	角膜炎	42
脈絡膜破裂	1	飛蚊症	19
眼内異物	1	眼痛	9
その他	6	ヘルペス角膜炎	7
急性結膜炎	147	光視症	7
角膜びらん	105	帯状疱疹	6
びまん性表層角膜炎	84	一過性障害	6
アレルギー性結膜炎	69	偏頭痛	4
結膜下出血	69	眼窩蜂窩織炎	3
コンタクトトラブル	35	紫外線角膜炎	4
霰粒腫	27	水晶体核落下	2
角膜潰瘍	24	黄斑円孔	1
麦粒腫	23	眼窩血腫	1
網膜剥離	23	低血糖発作	1
網膜裂孔	6	視神経炎	1
		下垂体腫瘍	1
		その他	58
		合計	1161

す。また眼化学火傷は 3.4 % (40 件)、急性閉塞隅角緑内障は 0.9 % (10 件)、眼球破裂は 0.3 % (4 件)、網膜中心動脈閉塞症は 0 % (0 件) です。緊急処置が必要なこれらの疾患の受診頻度は決して高くはありませんが、知識は頭の片隅に入れておいてください（→小耳寄り情報 1）。

三宅：外傷が多いそうですね。それでは症例をお願いします。

小耳寄り情報 1

救急眼疾患の治療までの適正時間

救急眼疾患の治療までの適正時間は表 2 のようになる。これに準じて救急診療と眼科へのコンサルテーションを考慮する必要がある。（齋）

表 2 救急眼疾患の治療までの適正時間（文献¹より一部改変）

I. 数分以内に治療が必要な疾患	1. 角膜の化学的火傷	
	2. 網膜中心動脈閉塞症	
II. 1～数時間以内に治療が必要な疾患	1. 細菌性眼内炎	10. 角膜擦過傷
	2. 開放性眼外傷	11. 急性前部ぶどう膜炎
	3. 急性閉塞隅角緑内障	12. 虚血性視神経症
	4. 瞳孔ブロック緑内障	13. 網膜硝子体出血に伴う急性網膜裂孔形成
	5. 眼窩蜂窩織炎	14. 急性硝子体出血
	6. 海綿静脈洞血栓症	15. 黄斑部に及ぶ急性裂孔原性網膜剥離
	7. 細菌性角膜炎	16. テスメ痛
	8. 淋菌性結膜炎	17. 前房出血
	9. 角膜異物	18. 眼瞼裂傷
III. 数日以内に治療を必要とする疾患	1. 視神経炎	4. 急性眼球突出
	2. 陳旧性網膜剥離	5. 視神経管骨折
	3. 眼窩底骨折	6. 眼窩内異物、など

Case 1

受傷
鼻出血

悪心

眼窩底骨折をきたした 15 歳の男性

〔年齢・性別〕15 歳・男性

〔現病歴〕野球の試合中、自分が打った打球が右眼に直撃した。受傷後、右眼の見え方はあまり変わらないが、両眼で見えると物が二重に見える。鼻の痛みはないが鼻出血もあり、救急外来を受診した。

〔来院時所見〕受診時、悪心あり。対光反射正常。眼球運動検査で、上方視で右眼上転障害と眼球運動痛を認めた（図 1）。眼窩底骨折を認めた。

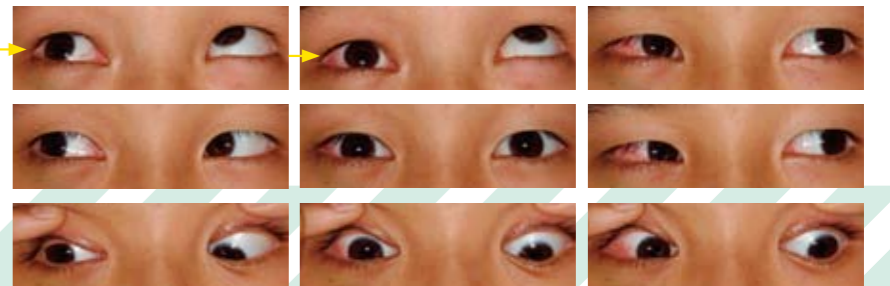


図 1 右眼窩底骨折術前
右眼窩底骨折の 9 方向眼球運動写真。右眼上転障害を認める。